□□通信 号外

「メタルマックス」は本当におもしろいか！？

メタルマックス誌上初体験 モニターに選ばれた幸運な（？）読者　山崎君（高３）

ミヤ王、キム皇のゲーム指南付き

まずはマイホームタウン からスタート SWITCH ON

山：おお、いきなり！

何んだ、これ。主人公がいきなりオヤジに殴られましたね。ファミ通のMM通信で読んだ通り、僕は不良になっちまったんですね。一度やってみたかったんですよ、不良。

僕、根がマジメだから。（笑）で、戦車、どこにあるんですか、戦車。ねぇ、キム皇さーん。（キョロキョロ）

キ：オイオイ。すぐに人に頼らないでよ。戦車を手に入れるのもゲームのうちだから、探さなきゃだめだよ。

山：では、まず建物の中を歩いてみましょう。おっ、お茶を飲んでる人がいる。カウンターはショップでしょうか。ちょっと話しかけてみます。「何か買いますか？」もちろん買いますよん。えーっと、砲弾と、装甲にしておこう。あれっ。「戦車がなきゃ、補給もへったくれもないでしょ」。なんだ、こりゃ。そうか！戦車がないと買えないんだ。

早く、戦車ほしいー。

おや、ウワサのルーレット付き自動販売機もありますね。

ミ：ここで回復カプセルを買っておいたほうがいいね。

山：ハイ。僕は実生活でも自動販売機では当たったことがないんですけど……。 おおっ、**当たった！スゴイじゃん。**

キ：あっそうそう！これ、開発バージョンだから、全部当たるようにしてあるんだった。

山：ガックリ。ひととおり情報を集めたら、酒場に行ってみたいな。（ミ：何でいきなり酒場なんだよ？）

酒場へ向かう

山：酒場は人が多いですね。 バーテンさん、お願いしまーす。エッ、ヘビメタカクテル？バリバリソーダ？何ですか、コレ？メチャクチャ強そうなアルコール類ばっかりですね。ぼ、僕、未成年なんだけど、お酒飲んでもいいですかあ？

ミ：いいよ。この世界は法律は無いんだから。

山：カッコイー。ところでこのバーテンさん、お酒をすすめるのがうまいですね。あっというまにお金が減っちゃいましたよ。不良気分はサイコーにグッドですね。これがゲーム本来の楽しみってやつですか。

ミ：飲んでばっかりだな、こいつ。あーあ、所持金の半分も飲んじゃったぜつ。

山：ふむふむ、大体戦車のある場所がわかったぞ。それにしても、ひとくせありそうな人ばかりですね。口は悪いし。ファンタジーとは違いますね。うーん、新しいなぁ□F系はやたら親切な人だらけだったなぁ。

キ：あとポスターを見ておこうね。これから出てきそうなモンスターもチェックできるからね。

山：ハイハイ。倒したいモンスターを探すっていうのも積極的でいいスね。それでですね、気がついたんですけど、音楽も今までのRPGとは違いますね。 **こういうの僕、待ってたんですよー、ハハハ。**

ミ・キ：……。

モンスターとの激しいバトル

山：町を出て戦うぞっ。やっぱ、外は空気がうまいや。さあ、来い、モンスター。（ミ：ムチャしてるぜつ）おおっとお、モンスターも変わってますね。キャノンホッパー、スポイトキウイ？何じゃ、これ？アメーバ？サイバーなのばっかり出てきますね。パチンコひとつで戦うのって大変だなぁ。早く戦車、出てこーい。おーい。 あった、あった。これが洞窟か。不気味な感じですね。おっモンスターがどっと増えたぞ。ありゃりや、回復カプセルもなくなっちゃったなぁ。あ、し、いま画面の右下に戦車が見えた！コラ、このモンスター、ジャマだっての。あー、死んじゃったよ。（ミ：うるさいヤツだな。だれだ？こんな奴呼んだのは。）

ドクターミンチの研究所

山：何だ、コレ。 **けっこーあぶなそうな所ですね。**

キ：フフフ……。ドクターミンチの出番だね。

ミ：死体をよみがえらせる科学者だぜっ。

山：研究所の中は、ホルマリン漬けの死体がいっぱいだあ。「生きのいい死体だと、よみがえりやすい」って？凄いこと言いますね、このおっさん。なんだか退廃的な未来ですね。こんな世界は今までのRPGにはまったくありませんでしたね。危ないやつでもちゃんと町で生活しているところがすごいですよ。

戦車を手に入れる。

山：いや一、無事に戦車に乗れてよかった、よかった。あの犬にはてこずりましたね。それにしても戦車に乗ると強い、強い。攻撃されてもダメージはゼロ。今までの苦労が水のアワ、いや違った、ウソみたい。ホントにこんなバランスでゲームやっちゃっていいんですかあ？甘過ぎるんじゃないですかぁ？ **ユーザーにバカにされますよ。** （とモンスターを退治しまくる山崎読者代表）

山：あれれ？弾が出ない。バグか、これ。バグだ、バグっちゃいましたよー。主砲がいかれちゃいましたよぁ。（ミ：もっとましな読者いなかったのかよ、ったく。）

キ：画面をよく見ろよ（本当にMM通信読んでたのか？）。 **タマの残量がゼロって出てるでしょ。**

山：そうでした。じゃ、副砲を……。あれ「装備されてません」。また、バグかぁ？いや、わかったぞ。まだ副砲が付いてないんだ。（ミ：メッセージ、画面にでてるよ）このへんの武器の使い方、キチッと解説しとかないと、バカなプレーヤーはカン違いしますよ、ホント。僕の意見、参考になるでしょ。

キ：そ、そうだね。参考にしとくよ。（ミ：バカはおまえのことだ）

山：スタートボタンを押すだけで戦車のパラメータが出てくるって、 **快感に近いですね。** これは便利だなぁ。ここは、よくできてますね。いゃぁ、感心、感心。ゴールドも貯まったことだし、ちょっと装備でも固めようかなっと。

（町へ移動する）

えーっと、まずは装甲と主砲のタマはマンタン補給しとこう。あっ、副砲とSEもください。これで無敵だぜっ！（二人に向かってVマーク）あれれ、何だ、これ？戦車が動きませんよー。こんどこそ、バグだあー！！バグっちゃったよー。

ミ：重量オーバー！！メッセージが出てるだろう！ちゃんと画面を見ろよナッ！

山：あっ、そんなこともありましたね。じゃ、装甲ははがしとこう。じゃ、いってきまーす。

（それから5分後、山崎の装甲のない戦車は完全に破壊された。）

（4時間後）

山：おゃ、海岸に工場みたいなのがありますよ。（ミ：知ってるよ）おっと、人がいる。なになに、「僕はメカニック？」いいね、仲間にしてあげよう。こいつがいれば故障したとき楽だなぁ。工場の中はけっこう広いです。これ、ベルトコンベヤーみたいですね。いかにも未来って感じで、かっこいいですね。これ、コンベヤーに乗って遊べますよ。ほらほら、いいでしょ。（ミ：知ってるってーの）いいなあ、これ。

（そして8時間後）

地下鉄の中も立派なダンジョンになるんですね。線路が半分土に埋まってるや。なんだか、恐そーなとこだなぁ。

山崎読者代表は、興奮ぎみに、感想を語った。

山：うん、今までのRPGと明らかに違いますね。それでいて完成度が高い！戦闘も大きな手ごたえがあるし、細かなところまでチェックすればするほど戦車が活きてくる。ま、僕みたいなドラクエ卒業者というか□ RPG上級者向けですね。

キ：ドラクエより、高校をちゃんと卒業するのが先だぞって。

ミ：今日のテストプレイの成果は、小学生でも遊べるのがわかったことだぜっ。

キ：なにしろこいつでさえ遊べたからね。

山：なにを二人でブツブツいってるんですかぁ？このダンジョン、どんなモンスターがいるんですか。

キ：ハイ、ここまで！ゲームはおしまい。

SWITCH OFF□□画面消える）

山：エー、そんなぁ。まだちょっとしかやってないのにー。そんな、そんなぁ。まだセーブもしてないのに……。僕は読者代表ですよ、僕には知る権利も続ける権利もある！僕がやりたいってことは、読者のみんなもやりたいってことだから、えーつ、とにかくやらしてくださいよー。（暴れる山崎）

ミ：あとは買って遊びな。

キ：フフフ……。これで確実に一本は売れるね、ミヤ王。

METALMAX TSUSHIN, 宮岡寛, 木村初

From:
https://www.wuershu.com/ - **STEEL RALLY**

Permanent link:
https://www.wuershu.com/mms/archives/mm_tsushin_extra

Last update: **2023/03/20 11:49**